



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 遠州トラック株式会社
 コード番号 9057 URL <https://www.enshu-truck.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之

TEL 0538-42-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,992	21.9	585	86.3	585	89.8	403	24.7
2019年3月期第1四半期	6,554	6.9	314	18.0	308	13.8	323	32.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 372百万円 (6.0%) 2019年3月期第1四半期 351百万円 (23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	54.13	
2019年3月期第1四半期	43.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	25,853	13,955	54.0
2019年3月期	25,072	13,687	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,955百万円 2019年3月期 13,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		14.00		14.00	28.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	15.9	950	41.8	950	43.4	610	7.2	81.76
通期	31,500	10.9	1,950	22.1	1,930	23.1	1,250	26.2	167.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	7,546,000 株	2019年3月期	7,546,000 株
2020年3月期1Q	85,176 株	2019年3月期	85,106 株
2020年3月期1Q	7,460,844 株	2019年3月期1Q	7,460,914 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策により企業収益が堅調に推移するとともに、雇用環境の改善が続いたことなどから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済の不確実性に対する懸念が高まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、昨年7月に開始したインターネット通販向けの宅配業務が期初から寄与したこと、従来からのインターネット通販向けの物流拠点間輸送が増加したこと、家電品や日用品・衛生用品等生活関連貨物の取り扱いも堅調に推移したことなどから、当第1四半期連結累計期間の営業収益(売上高)は79億92百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

利益面におきましては、主に輸送事業の拡大が寄与した結果、営業利益は5億85百万円(前年同期比86.3%増)、経常利益は5億85百万円(前年同期比89.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億3百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は79億24百万円(前年同期比21.6%増)となりました。その内訳は、輸送部門が57億87百万円(前年同期比28.9%増)、倉庫部門が21億37百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

その他(不動産事業等)は67百万円(前年同期比94.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は75億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円増加しました。これは主に現金及び預金が57百万円、受取手形及び営業未収入金が2億25百万円増加したことによるものであります。固定資産は182億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加しました。これは主に有形固定資産が4億39百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、258億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億80百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は65億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億75百万円増加しました。これは主に未払法人税等が3億11百万円、賞与引当金が1億13百万円減少したものの、支払手形及び営業未払金が82百万円、短期借入金が3億74百万円、その他に含めて表示している設備支払手形が5億20百万円増加したことによるものであります。固定負債は53億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少しました。これは主に長期借入金が1億44百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、118億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億12百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は139億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億68百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億3百万円及び剰余金の配当1億4百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%(前連結会計年度末は54.6%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は28億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は85百万円（前年同期比2億36百万円減）となりました。これは主に売上債権の増加額2億22百万円、法人税等の支払額4億73百万円による支出に対し、税金等調整前四半期純利益5億86百万円、減価償却費1億25百万円、仕入債務の増加額82百万円による収入があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1億33百万円（前年同期比27百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出58百万円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1億5百万円（前年同期は2億65百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1億54百万円、配当金の支払額1億4百万円による支出に対し、短期借入金の純増加額3億85百万円による収入があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826	2,884
受取手形及び営業未収入金	4,016	4,242
電子記録債権	159	155
販売用不動産	32	49
その他	257	261
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	7,276	7,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,293	3,259
機械装置及び運搬具（純額）	187	171
土地	11,086	11,086
リース資産（純額）	237	230
建設仮勘定	467	934
その他（純額）	121	150
有形固定資産合計	15,393	15,833
無形固定資産	234	240
投資その他の資産		
投資有価証券	668	625
繰延税金資産	184	197
その他	1,353	1,416
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	2,167	2,202
固定資産合計	17,795	18,276
資産合計	25,072	25,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,631	2,714
短期借入金	1,760	2,135
未払法人税等	511	200
賞与引当金	176	63
その他	794	1,436
流動負債合計	5,874	6,550
固定負債		
長期借入金	4,661	4,516
退職給付に係る負債	494	504
その他	353	326
固定負債合計	5,509	5,347
負債合計	11,384	11,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	11,144	11,443
自己株式	△59	△59
株主資本合計	13,455	13,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	203
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	232	201
純資産合計	13,687	13,955
負債純資産合計	25,072	25,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	6,554	7,992
営業原価	6,043	7,199
営業総利益	510	793
販売費及び一般管理費	196	207
営業利益	314	585
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
その他	3	5
営業外収益合計	10	12
営業外費用		
支払利息	13	10
その他	2	1
営業外費用合計	15	11
経常利益	308	585
特別利益		
固定資産売却益	0	0
違約金収入	165	—
特別利益合計	165	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	470	586
法人税等	147	182
四半期純利益	323	403
親会社株主に帰属する四半期純利益	323	403

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	323	403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△30
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	27	△31
四半期包括利益	351	372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351	372

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470	586
減価償却費	155	125
支払利息	13	10
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△45	△222
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26	82
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1	20
その他	△163	△39
小計	406	562
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△14	△10
法人税等の支払額	△76	△473
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	85
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79	△58
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△9	△9
その他	△72	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	385
長期借入金の返済による支出	△172	△154
配当金の支払額	△74	△104
その他	△18	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105	57
現金及び現金同等物の期首残高	2,020	2,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,915	2,884

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。